

【学校だより】

南アルプス市立 小中一貫校 芦安小学校



芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和7年7月16日 NO.4 校長 松田 晃一



短冊に書く願いとその意味

7月7日は「七夕」でした。国立天文台では、二十四節気の処暑以前で、処暑に最も近い新月から数えて7日目を「伝統的七夕の日」としています。

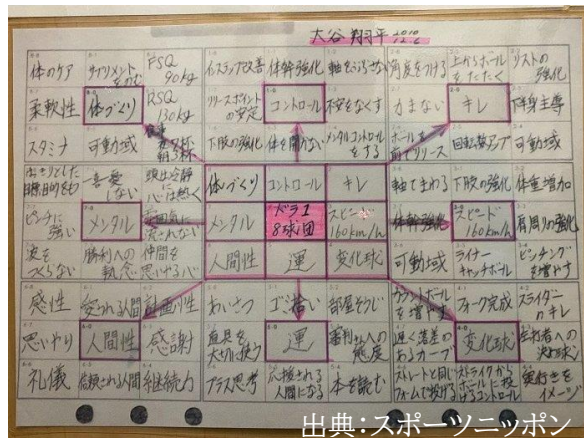
私たちは七夕飾りに願い事を書きますが、学校生活の中にも目標を書く場面が多々あります。例えば、始業式や長期休業前、行事の前などです。

願いをかなえるために目標を書くことは、達成するかどうかには関係ないように思えますが、目標を書いた人の方が成功する可能性が高いのだそうです。

大谷翔平は「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生をつくるんだ」と言い、夢を叶えています。右の写真は、高校1年生の大谷選手が書いたマンダラチャート（目標達成シート）です。運を良くするためには「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「審判さんへの態度」「本を読む」「道具を大切に使う」ことなどを挙げています。

以前読んだ本に、オリンピックで金メダルをとるための秘訣が書かれていました。オリンピックで金メダルをとるには実力も大切ですが、心のもち方が大切になるのだそうです。勝者の心のもち方を簡単にいうと、①目標をはっきり決め、②それを紙に書き、③すぐに行動を始める、ことなのだそうです。

七夕の短冊は、このうちの①と②を具体化したものです。大谷選手の「目標達成シート」もまさにこれです。七夕の日に、願いを短冊に書くというのは、何か意味のあることのように思えてきます。



有意義な夏休みを

18日（金）に1学期の終業式を行い、いよいよ夏休みが始まります。これまで保護者の皆様をはじめ、地域や関係各位の皆様には子どもたちの健やかな成長を支えていただき、また本校の教育活動に多くのご協力をいただきました。おかげさまで、充実した活動を行うことができました。皆様の温かいご支援とご協力に感謝しております。

夏休みを迎えるにあたっては、個別懇談や「あゆみ」を学校生活について振り返る機会とし、学習面や行動面の「良さを認め励ます材料」にしていきたいと思います。

夏休みは学習や生活を見つめ直し、新学期に備え新しい目標に向かって準備する絶好の機会です。新学期が始まる9月1日には、子どもたちの元気いっぱいの笑顔に会えることを心から楽しみにしています。

6月17日「プール開き」を行いました



学校の様子

行事や活動の様子を
写真で紹介します！



他の行事については、学校HP
「お知らせ」で
ご覧ください。

【2年生 町たんけん】

6月19日と25日、2年生が「町たんけん」に出かけました。めあては「なかよく、たのしく、町たんけん」です。1回目は、芦安駐在所ーなとりやー青木油店のルート、2回目は、南アルプス市芦安窓口サービスセンターと郵便局、環境省南アルプス自然保護官事務所を訪れました。質問をしたり、話を聞いたりするとき、礼儀正しくできました。



【5, 6年生 自然体験宿泊学習「白根御池小屋登山」】

7月3, 4日、「白根御池小屋登山」へ行ってきました。天気が心配されましたが、活動中は雨にも降られず、充実した活動ができました。1日目は御池小屋到着後、小屋周辺の自然観察とシカの食害の学習、2日目は午前中に雪渓まで行き雪遊びをして、午後下山をしました。

ガイドや学習の講師をしていただいた芦安ファンクラブの皆様、白根御池小屋のスタッフの皆様、登山準備へのご協力をいただいた保護者の皆様に深く感謝いたします。



【着衣泳体験教室】

7月15日、夏休みを前に、スイミングスクールから講師を招き「着衣泳体験教室」を開きました。普段の水泳とは違い、体育着を着たまま水に入る体験に、子どもたちは最初こそ戸惑いながらも、次第に浮いて待つコツをつかんでいました。「もしもの時には、あわてず浮いて助けを待つ」— 命を守る知恵を、子どもたちはしっかりと体で学びました。これからの季節、水辺での活動も増えることでしょう。今回の学びを心に留め、安全に夏を過ごしてほしいと思います。

